

中部運輸局観光部

平成30年11月7日 発表

同時発表 福井県政記者クラブ



連絡先：中部運輸局観光部国際観光課 上井、榊原
TEL 052-952-8005
杉原千畝ルート推進協議会
事務局(高山市海外戦略課)：森、村井
TEL 0577-35-3346

“昇龍道プロジェクト”

杉原千畝ルートに杉原サバイバーと
イスラエルのメディアを招請します！

第二次世界大戦中に日本へ渡るビザを発給して数千人の命を救った外交官、杉原千畝氏ゆかりの地をつないだ杉原千畝ルートを広く世界にPRするため、^{※1}杉原千畝ルート推進協議会と中部運輸局が連携して、イスラエルから^{※2}杉原サバイバーやイスラエルメディアを招請し、杉原千畝ルートを巡るファミトリップを以下のとおり実施します。

1. 日程 平成30年11月14日(水)～21日(水)
2. 被招請者 杉原サバイバー ベルティ・フランケル氏
イスラエル・ハヨム紙(新聞)ジャーナリスト
イスラエル・ワラ紙(Web新聞)ジャーナリスト
3. 視察先 別紙のとおり

■ベルティ・フランケル氏(80歳)

1937年ポーランド・クラコフ生まれ。1939年9月1日、ナチスドイツがポーランド侵入した日に、両親とともに東へ逃れる。リトアニア・カウナスに到着し、当時の領事代理・杉原千畝氏から他の難民と共に日本への通過ビザの発給を受ける。その後、ロシアへ渡り、敦賀へ辿り着く。日本では神戸に数カ月滞在し、その後ニュージーランドへ渡航。1969年にイスラエルへ移民。当時、杉原千畝氏のビザ発給がなければ、現在のフランケル氏は存在していなかった。

※1 杉原千畝ルート推進協議会

平成28年7月設立。第二次世界大戦中に多数のユダヤ人難民の命を救った外交官杉原千畝氏にゆかりのある地域及び周辺地域(八百津町、敦賀市、名古屋市、金沢市、白川村、高山市)を「杉原千畝ルート」として結び、海外からの誘客を図ることを目的としている。平成29年4月には、杉原千畝氏が少年時代を過ごした名古屋市が新たに加盟した。

※2 杉原サバイバー(Sugihara Survivors)

在リトアニア日本国領事館領事代理・杉原千畝氏が発給したビザによって生き延びた人々が「杉原サバイバー」と呼ばれている。

今後、ヘブライ語と英語で作成した杉原千畝ルートを紹介するパンフレット等を活用して、イスラエルとアメリカにおける海外PRを予定しております。これらを通じて杉原千畝ルートのさらなる認知度向上と杉原千畝ゆかりの地への誘客を目指していきます。

【行程表】

11月14日(水)	イスラエルから中部国際空港着、名古屋市へ
11月15日(木)	名古屋市：杉原千畝人道の道、名古屋城、トヨタ産業技術記念館など
11月16日(金)	八百津町：杉原千畝記念館、人道の丘公園など
11月17日(土)	高山市：宮川朝市、高山陣屋、古い町並、高山祭屋台会館など
11月18日(日)	白川村：城跡展望台、白川郷合掌造り集落（和田家など）など
11月19日(月)	金沢市：長町武家屋敷跡、兼六園、金沢城公園、近江町市場、ひがし茶屋街など ※杉原千畝ルート推進セミナーを開催 時間：15：00～16：30 場所：金沢歌劇座
11月20日(火)	敦賀市：人道の港敦賀ムゼウム（金ヶ崎緑地）、敦賀赤レンガ倉庫など
11月21日(水)	中部国際空港からイスラエルへ帰国

- 取材を希望される場合は、事前に各自治体までお問い合わせをお願いします。
- 時間の都合上、取材対応に制約がある場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- 行程表については、現時点での予定であり、都合により変更する場合がございます。
- 杉原サバイバーの体調や時間の都合により、取材対応に制約がある場合がございますので、あらかじめご了承ください。

＜各自治体お問い合わせ先＞

名古屋市：観光文化交流局観光交流部観光推進室	TEL 052-972-2219
八百津町：タウンプロモーション室	TEL 0574-43-2111（内線 2352）
高山市：海外戦略部海外戦略課	TEL 0577-35-3346
白川村：観光振興課	TEL 05769-6-1311
金沢市：経済局営業戦略部観光政策課誘客推進室	TEL 076-220-2759
敦賀市：産業経済部人道の港発信室	TEL 0770-22-8129